

—岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット15頁—

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

◯ <大瀬川B遺跡(花巻市石鳥谷町大瀬川)(2)>

1号塚は中央部に石室が構築され、須恵器広口壺が埋納されていました。壺の埋納の底面に初鑄年代西暦 995年の中国銭「至道元寶」が置かれていました。須恵器広口壺は9世紀代の製品ですが、連結する2号塚の年代観も考え合わせると、壺の埋納は12世紀代と推測されます。

2号塚は中央部に掘り込みがあり、盗掘されており塚の周囲からは12世紀の常滑産三筋壺がばらばらの状態で出土しています。これは盗掘者が掘り出した破片を捨てたものと推測されます。3号塚にも掘り込みがあり、これも盗掘痕と推測されます。周囲からは出土遺物はありませんでした。

《《《 7月～8月行事予定のお知らせ 》》》

6月28日 (木曜日)	発掘調査現地見学	集合時刻/午後1時30分 現地集合 見学場所/南日詰大銀Ⅱ・城内Ⅰ遺跡 参加者/会員及び会員が同伴する方 ※ 現地に駐車場所がないので、ご注意ください。
7月18日 (水曜日)	第93回月例発表会	午後7時から午後9時まで ◎ 会員発表 発表者: 石幡 信 テーマ: 紫波郡の城館1 ◎ 歴史講談 出演者: おおむらさき (小笠原悦子) 演題: 中尊寺炎上・大水の舞 出演者: 和葉紫 (久慈和子) 演題: 北の方平氏の情念
8月15日 (水曜日)	第94回月例発表会	午後7時から午後9時まで ◎ 会員発表 発表者: 高橋 敬明 テーマ: 鎌倉時代の紫波 4 発表者: 平井 和夫 テーマ: 吾妻鏡にみる奥州平泉 13

♥♥♥♥♥♥♥ 五郎沼古代ハスマつり協賛ボランティアガイド案内所の開設 ♥♥♥♥♥♥♥

五郎沼古代ハスマつり協賛ボランティアガイド案内所を、7月15日(土)・16日(日)・17日(月)・21日(土)・22日(日)の5日間、蓮の池南西隅に開設します。開設時間は、毎日午前9時から午後4時までの7時間で、前・後半二班編成で対応にしています。

案内の内容は、五郎沼一周・樋爪館遺跡めぐりと、古代ハスの池周辺で、蓮についての解説になりますので、6月28日(木)の午後3時頃(発掘調査現地見学終了後)から赤石公民館で、平井副会長が作成した資料をもとに、ミーティングを行いますので参加してください。

【才土地遺跡発掘調査報告書】(2) <平成22年3月 紫波町教育委員会>

2 検出遺構と出土遺跡

(2) 竪穴住居跡

〔位置〕 調査区中央やや北寄りに溝跡に切られる形で位置する。

〔平面形・規模〕 平面は長軸が約3.6m、短軸が約2.7mほどの隅丸方形を呈し、住居跡北東部は近・現代の削平の影響を受けている。

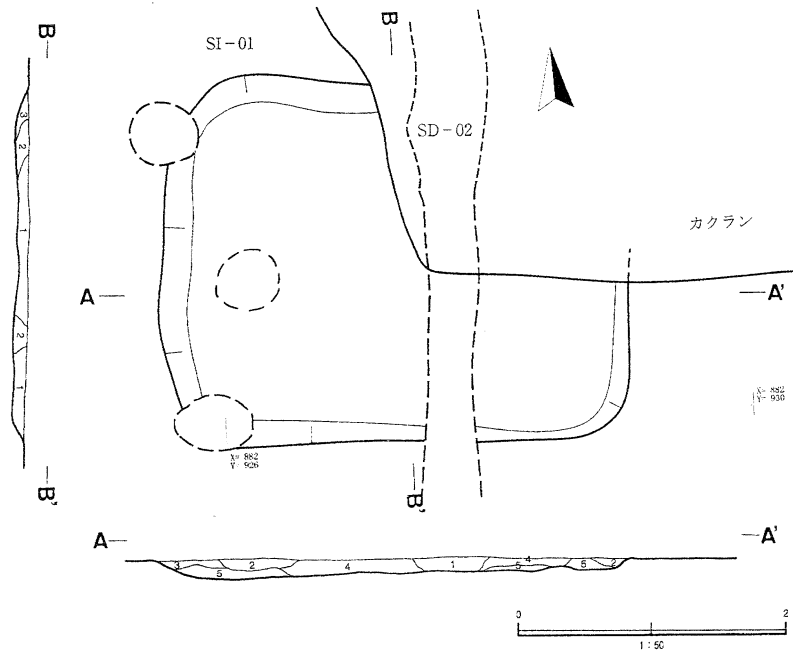
〔埋土〕 埋土は、4層に大別される自然堆積である。

〔床面〕 全体に床面の硬化は認められたが、貼り床は認められなかった。

〔カマド〕 なし。

〔付属施設〕 住居内より3基の柱穴状遺構が確認されたが、いずれも住居跡に伴う遺構とは考えにくく、掘立柱建物跡に伴う遺構であると考えられる。

〔遺物〕 住居北東部を中心として土師器坏・甕の破片が出土した。



第3図 SI-01竪穴住居跡平面図・断面図

☆ 南日詰大銀Ⅱ遺跡、北日詰城内Ⅰ遺跡の発掘調査が行われています。

国土交通省の北上川堤防工事に伴い、4月から県埋蔵文化財センターが大銀Ⅱ遺跡と城内Ⅰ遺跡の発掘調査を行っています。昨年度まで紫波町教育委員会が行っていた調査面積の、数倍の大規模調査ですが、すでに樋爪館に関連する遺構や、中・近世の城の外堀とみられる遺構が出ているようです。6月28日に実施する予定の現地見学が今から楽しみです。

